

## 長谷川 佳彦

法学研究科・准教授

### 【研究】

昨年度に引き続き、ドイツにおける行政訴訟の類型の拡大・変容に関する歴史的研究に取り組んでいる。今年度は、ヴァイマル期の状況の研究成果を阪大法学67巻2号に論文として発表し、第2次世界大戦後の状況について研究を行った。後者の成果は来年度に論文として発表する予定である。また、『行政判例百選Ⅱ〔第7版〕』において、最決平成19年12月18日の解説を公表した。

この他、以前に執筆を担当した、判例の解説を中心とする行政法の入門書(『判例行政法入門〔第6版〕』)及び公共政策を専門とする学生向けの教科書(『公共政策を学ぶための行政法入門』)が公刊された。

### 【教育】

法学部において「行政法2」、「フレッシュマンセミナー」、「演習1・2」を、法学研究科において「行政法2・行政法特殊講義1」を、高等司法研究科において「行政法基礎」をそれぞれ担当した。

### 【管理運営】

法学部教務委員会委員及び法学研究科・高等司法研究科の学生支援室室員を務めている。前者については、来年度の法学部法学科の時間割の調整作業を担当した。

### 【社会貢献】

大阪府情報公開審査会委員及び大阪市個人情報保護審議会委員を務めている。前者に関しては、会長代理・第2部会長の職にある。

また、2017年12月に吹田市行政改革に関する検討会議に出席し、指定管理者制度の運用方針について専門的見地から助言を行った。